

平成30年度第1回災害医療対策部会議事概要

日時：平成31年2月27日（水）

19：00～20：00

場所：吉田山206会議室

部会長の選出について

委員の互選により伊藤委員が部会長に選出される

議題

（1）第7次三重県医療計画における災害医療対策の進捗について

委員 SCU やロジスティックスという言葉について、誤解を生まないように言葉の使い方を整理しておく必要がある。

事務局 ロジスティックスという言葉は、日本 DMAT 活動要領でも使用されており、DMAT 関係の用語として全国的に使用していることから、県の医療計画においてもこのような表現を使っている。

委員 災害医療圏ごとに設置している地域災害医療対策協議会相互の連携を深めていってほしい。

事務局 例えば、桑名、四日市、鈴鹿の北勢3地域では合同で情報伝達訓練を実施し連携を深めている。このような取組が全県的に広がっていくようにしていきたい。

（2）平成30年度三重 DMAT 訓練の実施結果について

委員 局所災害時に DMAT を病院長の判断で派遣できるのか。

委員 現状の制度でも、DMAT 指定医療機関の長の判断で派遣できる。但し、後に知事の承認が必要となる。具体的な手順については、検討していく必要がある。

（3）災害拠点病院について

委員 市立伊勢総合病院には、11トンのヘリコプターが離着陸できるヘリポートがあり、体制も整っている。申請があれば、ぜひ指定してほしい。

（4）災害医療コーディネーターについて

委員 国の活動要領では、保健医療活動の調整が必要と強調されているが、名称が災害医療コーディネーターで医療だけのコーディネートと誤解を招く表現である。こういった名称を使用するか検討する必要がある。

事務局 今後、他県の状況も踏まえながら整理していきたい。

その他

委員 麻疹などの感染症対策については情報の共有や初動体制が重要である。

事務局 麻疹が爆発的に広まったことについて、情報共有のあり方を抜本的に見直すべきと考えている。